

成長に向けた「挑戦」の政策

◆新規 ◇拡充

6 魅力ある地域づくり

①豊かな地域文化の醸成

- ◇文化・スポーツの振興助成 30,270(30,326)
 (文化・スポーツ等に関する国際大会から草の根レベルまで様々な取組を支援)
- ◆文化表彰50周年記念・名匠表彰40周年記念 18,724(-)
 (歴代受賞者の作品展等を県立近代美術館等で開催)
- ◆先人顕彰シンポジウムの開催 12,569(-)
 (濱口梧陵の偉業を顕彰してシンポジウムを東京で開催)
- ◇旧県会議事堂保存整備 326,608(254,275)
 (文化的価値が高い旧県会議事堂(岩出市)の保存整備を推進)

②スポーツによる地域の活性化

- ◇わがまち元気プロジェクト支援 20,828(18,411)
 (スポーツを核とした地域づくりプロジェクトを重点的に推進)
- ◇地域スポーツの振興
 (総合型スポーツクラブ等を支援し、生涯スポーツ活動を活性化)
- ◇サイクリングロードの整備 5,250[15,450](14,000)
 (紀の川沿いに安全で快適なサイクリングロードを整備)
- ◆スポーツに親しめる環境整備 [140,000](-)
 (河西緩衝緑地西松江緑地の陸上グラウンド(和歌山市)に人工芝を整備)
- ◆紀伊半島三県クラブスポーツ大会実施 2,148(-)
 (三県の交流を図るとともに児童生徒の体力向上とクラブスポーツの普及を促進)

③公共交通の維持・活性化

- ◇地域の生活交通の確保 254,549(231,054)
 (日常生活に不可欠なバス路線の維持確保等を支援)

④情報基盤の整備促進

- ◇携帯電話不感エリアの解消 51,766(64,701)
 (携帯電話用鉄塔施設整備を行う市町村を支援)
- ◇超高速ブロードバンド基盤整備支援
 (光ファイバ等の超高速ブロードバンド環境の整備を事業者に働きかけ)

⑤地域資源を活かした魅力づくり

- ◇都市と農村の交流による地域の活性化 401,691(383,346)
 (農業体験施設や直売施設の整備、農家民泊開設の支援などを実施)
- ◇住みよい山村集落総合対策の推進 48,489(45,508)
 (山村資源を活用した地域産業づくりや生活基盤の整備等を支援)
- ◇新エネルギー創出促進 30,712(-)<再掲>
 (農業用木質バイオマスボイラーの導入支援等)
- ◇ステップアップわかやまジビエ 22,910(12,263)<再掲>
 (獣肉処理施設に対し、安全性及び品質管理に基づく認証制度を創設し、わかやまジビエの流通と消費を拡大)
- ◆南紀熊野ジオパーク推進 35,217(-)
 (ジオパークの認定に向けた調査・保全活動や普及啓発を実施)
- ◇名所・景勝地魅力づくり 58,000(38,000)
 (名所・景勝地の整備〔番所山(白浜町)・産湯(日高町)〕)
- ◆古墳時代の「紀の川の巨木」保存・展示 12,403(-)
 (古墳時代頃に生育していたと判明した巨木を紀伊風土記の丘で保存・展示)

⑥ふるさと集落の活性化

- ◇過疎集落再生・活性化支援 50,000(50,000)
 (過疎生活圏単位での日常生活機能の確保や地域の活性化を総合的に支援)
- ◇へき地医療対策の推進 157,922(175,170)
 (へき地医療機関の運営等を支援)
- ◇農作物鳥獣被害防止総合対策 485,472(423,396)<再掲>
 (ニホンザルの管理捕獲を開始するなど、有害鳥獣の捕獲対策を強化)
- ◇移住交流の促進 28,871(34,853)
 (都市からの受入体制の充実、空き家活用による住家の確保、就業支援など移住交流を促進)

文化表彰50周年記念・名匠表彰40周年記念

平成25年度：18,724千円
(新規)

平成25年度は、文化表彰制度施行50周年・名匠表彰制度施行40周年の節目となることから、本県が誇る優れた文化や伝統工芸の価値を再認識する契機として歴代受賞者の作品展等を開催

和歌山県文化表彰

文化の向上発展に特に顕著な功績のある方々に対し表彰

賞の種類 | 文化賞・文化功労賞・文化奨励賞
制度施行 | 昭和39年度
過去の受賞者 | 252人、39団体(平成24年度末)

記念事業の概要

内 容 ① 美術分野の作品展
② 音楽等分野の舞台公演
③ 学術または文学分野の講演
④ 歴代受賞者功績録の作成 など
実施時期 平成25年11月下旬～12月上旬(上記の①～③)
実施場所 県立近代美術館、県民文化会館 など

和歌山県名匠表彰

伝統ある貴重な工芸品や生活用品の製作等の技能を保持し、地域社会における技術文化の向上と発展に功績のある方々に対し表彰

制度施行 | 昭和49年度
過去の受賞者 | 76人(平成24年度末)

記念事業の概要

内 容 ① 名匠紹介パネル展示
② 作品展示
③ 名匠による作品解説・実演 など
実施時期 平成26年1月末～2月初
実施場所 県民文化会館 展示ホール

濱口梧陵シンポジウム

平成25年度：12,569千円
(新規)

郷土の偉人・濱口梧陵の功績と教訓を広く全国に紹介するとともに、津波に対する防災意識を改めて喚起するため、「濱口梧陵シンポジウム」を東京で開催

シンポジウムの概要

開催時期 | 平成25年10月26日(土)

開催場所 | 明治大学駿河台キャンパス(東京都千代田区)

- 内 容
- プロローグ(太鼓の演奏など)
 - 基調講演(河田恵昭氏)
 - パネルディスカッション



年 譜

- 文政3年(1820) 広村(現:広川町)に生まれる。
- 天保2年(1831) 濱口家の本家にあたる千葉県銚子のヤマサ醤油店濱口儀兵衛の養子となり、醸造と販売の実務を行う。
- 寛永6年(1853) 家督を相続して儀兵衛を襲名。
- 安政元年(1854) 広村に激震とともに大津波が発生。梧陵は、避難の道しるべとして自家の稲むらに火を放ち、多くの村人を救う。また、私財を投じて家を建てるなど被災者救護に全力をあげるとともに、村の将来を考え、堅固な防波堤を築造。
- 明治元年(1868) 藩政改革に勘定奉行として抜擢。その後も和歌山藩政にたずさわる。
- 明治12年(1879) 県会設置とともに初代議長に就任、その後国会開設に備え木国同友会を組織。
- 明治18年(1885) ニューヨークにて64歳で没。

旧県会議事堂保存整備

平成25年度：326,608千円
(254,275千円)

県政史を象徴する建築であり、文化財的価値も高い旧県会議事堂（一乗閣）の保存整備を推進

事業の概要

名称：旧和歌山県会議事堂

所在：岩出市根来（根来寺境内）

事業計画：

平成24年度 解体工事等

平成25年度 組立工事（部材繕い、組上、屋根ふきなど）

平成26年度 組立工事（内装、外構など）

○整備後は、地域の歴史・文化・観光の中核的施設として活用

○将来は、国の重要文化財をめざす

【旧県会議事堂（一乗閣）の文化財的価値】



旧県会議事堂（一乗閣）

全国に現存する県会議事堂としては2番目に古いもので、和風県会議事堂としては、日本で最も古い建物

平成17年
県指定有形文化財
指定

【歴史】

- 明治31年 和歌山市一番丁に完成。県政の表舞台としての役割のほか、公会堂・展示場などとして県民に親しまれる
- 明治44年 夏目漱石「現在日本の開化」と題した講演を開催
- 昭和13年 議場が併設された県庁本館が完成し、県会議事堂としての40年の長きにわたる歴史に幕
- 昭和16年 和歌山市美園町に移築活用
- 昭和37年 根来寺境内に再移築され、「一乗閣」と命名。宿泊施設、文化施設として多くの県民が利用

わがまち元気プロジェクト支援

平成25年度：20,828千円
(18,411千円)

農産物等の地域資源を核とした地域づくりプロジェクトに加え、
平成25年度からスポーツを核としたプロジェクトの立ち上げを重点的に支援

これまでの「わがまち元気プロジェクト」(継続)

- ▶ 農産物等の地域資源を活用した産業の創出を支援
- ▶ 平成21年度からこれまで**11**市町でプロジェクト開始



新

スポーツを核としたプロジェクト立ち上げ支援

- ▶ 「紀の国わかやま国体・大会」を好機ととらえ取り組む
スポーツを核としたプロジェクトの立ち上げを支援

取組例

- 大規模なスポーツ大会の開催誘致
- 宿泊施設と連携したスポーツ合宿の誘致
- 国体開催種目の地元住民への普及
- 特産品を活用したスポーツ競技者向け
機能性食品の開発
- ウォーキングなどスポーツ観光商品開発

(参考)わがまち元気プロジェクトの支援概要

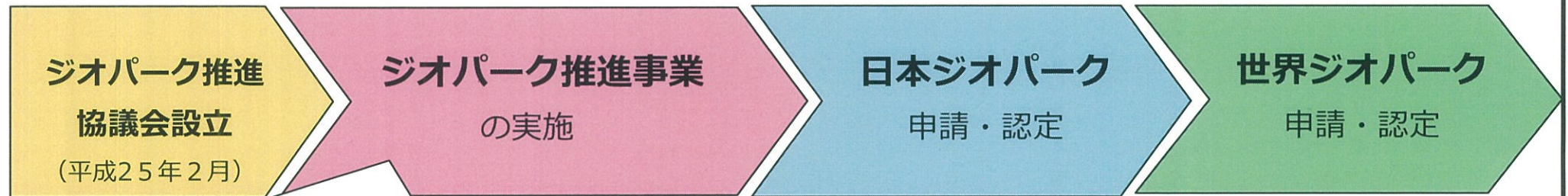
- 1プロジェクト原則 **3**ヶ年
- 支援限度額は1プロジェクト**500**万円
又はプロジェクト全体事業費の**1/3**以内のいずれか低い額

南紀熊野ジオパーク推進

平成25年度：35,217千円
(新規)

南紀熊野ジオパーク構想地域において、地質や地形の資源を見直し、それらを保全するとともに、教育や観光の振興等の地域の活性化を図る

南紀熊野ジオパーク構想地域 (新宮市、白浜町、上富田町、すさみ町、那智勝浦町、太地町、古座川町、北山村、串本町のエリア)



【平成25年度の活動】

○ 調査研究保全

申請書・基本計画・実行計画・保全計画の作成など

○ 普及啓発

ガイドブック、マップ、ホームページ等の作成、講演会開催 など

○ 観光振興

ジオガイド養成、ジオツアー開催など

※ジオパーク

地質や地形を見どころとする大地の公園



名所・景勝地魅力づくり

平成25年度：58,000千円
(38,000千円)

かつて観光客で賑わっていたが、今は荒廃してしまっている名所や景勝地を復活させるため、ハード、ソフトの両面から支援を実施

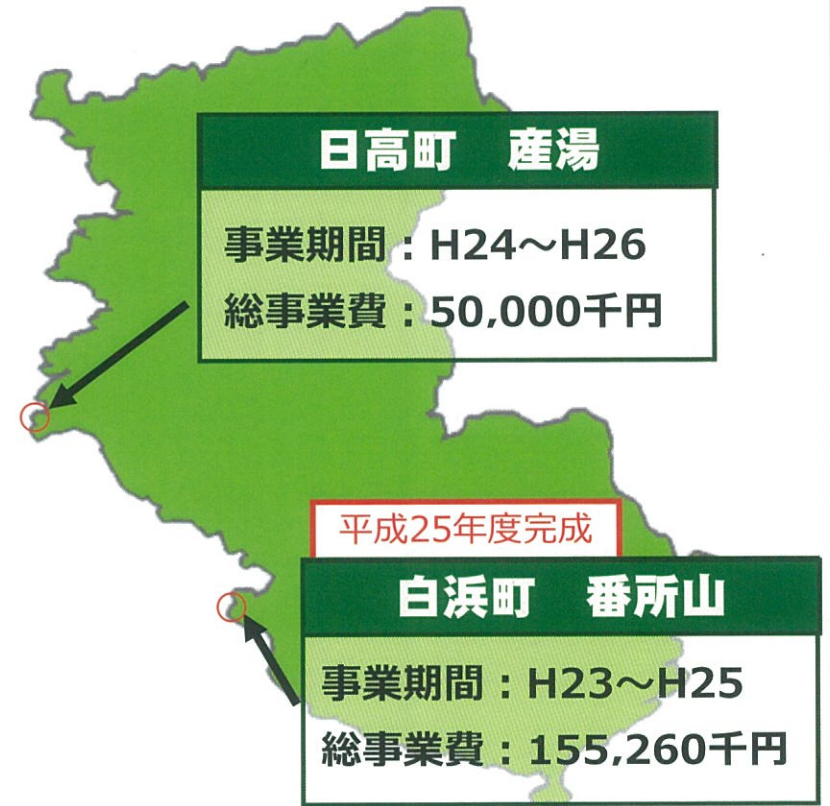
1年目

基本計画
実施計画

2、3年目

施設の整備
ソフト事業

住民や市町村との協働
による地域の
活性化



区分	補助対象となる事業内容	補助率
ハード事業	歩道、園地、展望台、休憩所、駐車場、 公衆トイレ、案内看板など	1 / 2
ソフト事業	啓発イベント（自然観察会など）	

古墳時代の「紀の川の巨木」保存・展示

平成25年度： 12,403千円
(新規)

- ・ 昨年、紀の川で発見された巨木は古墳時代頃に生育していたと判明
- ・ この自然が育んだ歴史的モニュメントを多くの県民に体感してもらえよう、同時代に築造された岩橋千塚古墳群とともに、紀伊風土記の丘にて大切に保存・展示

長く展示するために
防腐処置を施し保存

【巨木の概要】

- ・ クスノキで周囲12m、直径4m、推定樹齢350年
- ・ 年代測定により西暦約700年前後まで生育していたものと判明

